

PrimeSeat を楽しむ(27) —BPODCH の 11.2MHzDSD ライブ配信(3)—

1. 始めに

インターネットイニシアティブ (IIJ) は、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の2019-2020年シーズン定期演奏会から5公演をDSD 11.2MHzにて無料ライブ配信すると発表しました。

<https://primeseat.net/ja/>

<https://www.phileweb.com/news/d-av/201909/17/48467.html>

<https://online.stereosound.co.jp/ct/17303322>



そのラインアップから、今回第3回配信を視聴することにしました。

■第3回配信

キリル・ペトレンコ (指揮)

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番ハ短調

スーク：交響曲第2番ハ短調《アスラエル》

ライブ配信：2020年1月12日(日) 午前3:00～

聴き逃し配信：2020年1月15日(水) 11:00～1月21日(火) 24:00

Beethoven - Concerto for Piano and Orchestra No. 3 in C minor, op. 37 - I. Allegro con brio
BERLINER PHILHARMONIKER - KRILL PETRENKO - DANIEL BARENBOIM - Kiril Petrenko and Daniel Barenboim

<DSD11.2MHzライブ 聴き逃し配信>

ON DEMAND Japan only 11.2MHz 5.6MHz 2.8MHz PCM

2020年1月15日(水) ~ 2020年1月21日(火)

再生するサンプルレートをお選びください
● 11.2MHz ● 5.6MHz ● 2.8MHz ● PCM

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第3番ハ短調 (pf) ダニエル・バレンボイム	38:07	停止する
シューベルト: 4つの即興曲 D.935より第二曲 変イ長調 (アンコール)	6:40	再生する
スーク: 交響曲第2番ハ短調《アスラエル》	1:00:20	再生する

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第3番ハ短調
スーク: 交響曲第2番ハ短調《アスラエル》



2. PrimeSeat 配信の試聴方法

試聴方法は、従来は下記の通りでした。

ルート A

PC→UACU-700 →Brooklyn DAC+ →ACCU-1000

今回は、次の経路も加えてみました。

ルート B

PC→UACU-700→Sonica DAC→DA-3000→Brooklyn DAC+→ACCU-1000

ルート C

PC→UACU-700→Sonica DAC→ACCU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+

ルート A とその他のルート B とルート C との違いは、ルート A は DAC の Brooklyn DAC+に直接 USB 入力し、ルート B は DA-3000 経由でいったん DSD 化して Brooklyn DAC+に SDIF 入力することです。ルート B とルート C の違いは、ACCU-1000 を上流に装着するか、下流に装着するかの違いになります。

3. PrimeSeat 配信の試聴結果

アンコール曲のシューベルトの4つの即興曲第2曲を挟んでの上記2曲の演奏です。ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番は、ベートーヴェンとしては、まとまった美しい曲です。スークの交響曲第2番ハ短調《アスラエル》は、初めて聴くものですが、豪快、壮大なところから、抒情性もある、変化に富んだ曲です。

ルート A、ルート B およびルート C を聴き比べていきますと、意外に音の違いは大きいと言えます。

ルート A は緻密で端正な音です。ルート B およびルート C は、経路が長いだけにルート A より若干肌理の粗いところがあります。ルート B とルート C の違いは、ルート C の方の音量が上がり、躍動感もでます。

いずれにせよ、PC による DSD 11.2MHz の配信のストリーミング再生を借りて、再生経路による音の違いを確認できました。

4. まとめ

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の DSD 11.2MHz の第 3 回配信が受信できました。また、PC によるストリーミング再生の再生経路の音の違いが把握できました。

以上